

JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.02向け)

- 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップ(Ver.2.02)による変更点をまとめたものです。 [07年7月1日リリース予定]
- 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、07年7月以降、JAPIAホームページ (<http://www.japia.or.jp/>) より入手できます。
- JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2007年6月7日
(社)日本自動車部品工業会
環境負荷物質WG

< Ver.2.02による改正内容一覧表 >

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
.入力 帳票	1.構成材料の 選択機能	<p>入力者の利便性向上を目的に、JISに規定されている金属材料を対象に、化合物のデータを材料マスタ(材料 - 化合物)として整備しました。 構成材料の[選択]を利用することにより、読み込まれるようになりました。</p> <p>(注) ・材料マスタのデータは、標準的な材料の成分データです。 ただし、実際の部品・材料が、ELV 4物質(鉛、カドミウムなど)を不純物として含有するなど、成分が材料マスタの内容と異なる場合、材料マスタをそのまま使用することができない場合があります。 その場合には実際のデータに修正する必要があります。 ・JISに規定されている全ての金属材料について、材料マスタが整備されているわけではありません。</p>	5ページ
	2.セキュリティ 機能の追加	<p>入力帳票を開くには、パスワードが必要となります。 パスワードは調査元に確認して下さい。</p>	10ページ
	3.表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン、日付を更新しました。 ・改正の説明を追記しました。 ・注意事項、免責事項を追記しました。 	11ページ

(次ページに続く)

ファイル	改正項目	改正	詳細説明
.入力 帳票	4.入力帳票	・部品構成(項目番号 :7-11)の「必須」の記述を見直しました。	13ページ
		・アプリケーション(項目番号 :34)の[選択]にて、日本語から選択できるように改善しました。	14ページ
	5.入力要領	・材料(品番が付与されていない)を対象に調査する場合の入力ルールを追加しました。	15ページ
		・材質表示(項目番号 :32)の「入力上の注意事項 / 解説」をIMDSに合わせ見直しました。	16ページ

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
.外部 リスト	6 .セキュリティ 機能の追加	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権の問題があるため、参照不可としました。(Excel で保護され、内容を見ることができません) ・これまで開示されていたデータは、別ファイルにて提供します。 	なし
	7 .材料リスト (MAT)	<ul style="list-style-type: none"> ・リストの内容を材料マスタ(材料 - 化合物)に変更しました。 JISに規定されている金属材料 :材料 - 化合物のリスト 上記以外 材料のリスト(従来どおり) 	なし
	8 .化合物リスト (IMDS_SUB)	<ul style="list-style-type: none"> ・化合物名称(日本語)を見直しました。 ・GADSL改訂を反映しました。 	なし
	9 .化合物の GADSL分類 (IMDS_CATEGORY)	<ul style="list-style-type: none"> ・GADSL改訂に合わせて修正しました。 	なし

入力帳票の改正内容

[jamasheet_jp.xls(日本語版) および jamasheet_en.xls(英語版) および jamasheet_ch.xls(中国語版)]

1.構成材料の選択機能

項目番号	13
項目名称	構成材料
定義	構成部品に使用している材料名称
記入者	調査先
必須	必須 (材料を入力する場合)
データ型	半角英数字
桁数(整数)	100
桁数(小数)	0

材料の選択

検索条件を入力

クリック

入力する材料を選択

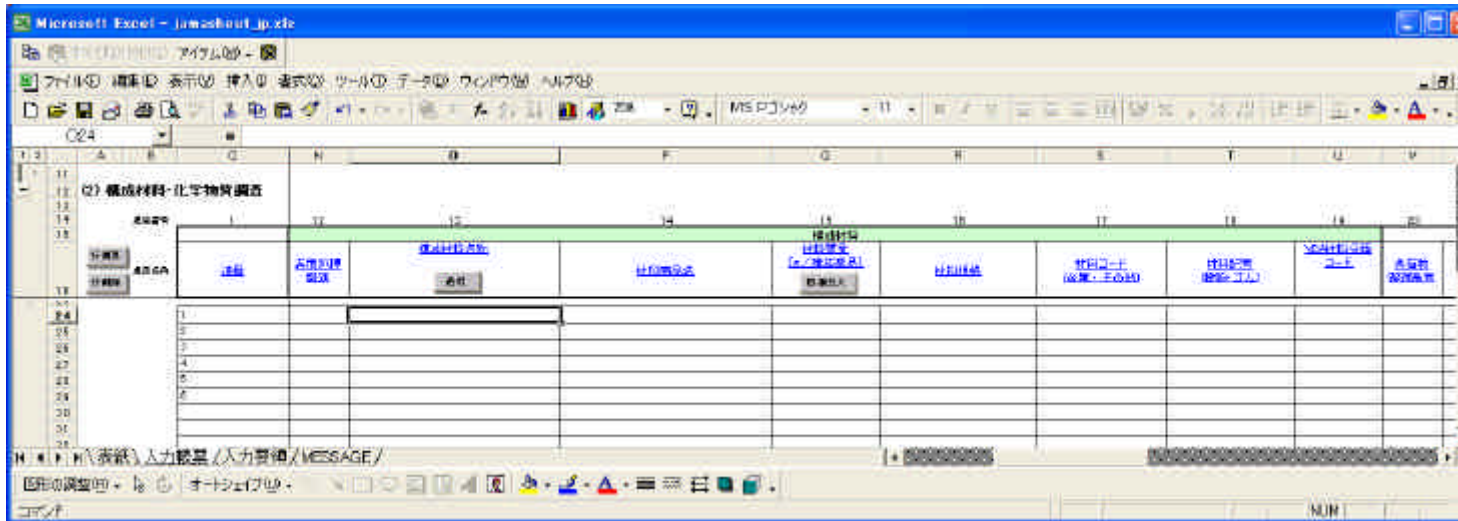
クリック

表面処理種別	材料名称(英語)	材料名称(日本語)	材料規格	材料コード(金)	材料コード(銀)	VDA材料分類	NodeID[材料]
Steel	SUY-1	鋼板	JIS G 3113	SUY-1		1.1.1	21456799
Steel	SUY-2	鋼板	JIS G 3113	SUY-2		1.1.1	A12895
Steel	SUY-3	鋼板	JIS G 3113	SUY-3		1.1.1	

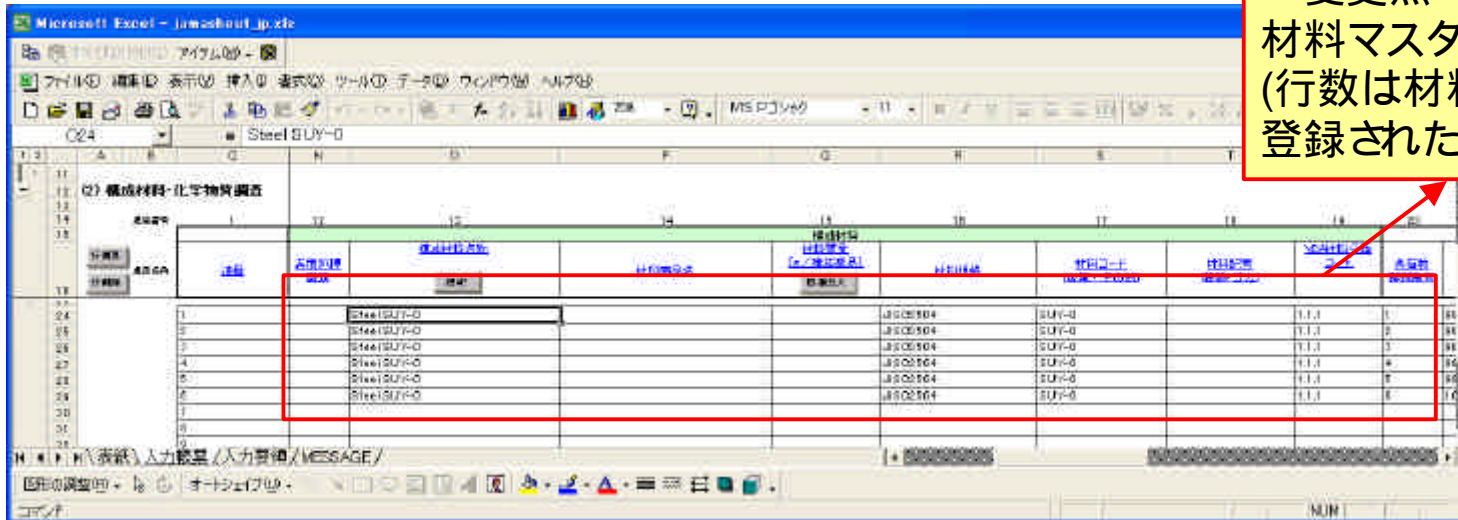
< 変更点 >
 NodeID[材料] が設定されている場合、材料マスタとして登録されており、
 選択すると材料マスタ(材料 - 化合物データ)が読み込まれます。
 (次ページに画面イメージ掲載しています。)

・材料選択の画面イメージ (材料マスタに「材料 - 化合物」のデータがある場合) 6/17

< 選択前 >



< 選択後 >



< 変更点 >
 材料マスタが読み込まれます。
 (行数は材料マスタに
 登録された化合物数による。)

(注意事項)

- ・材料マスタにて読み込まれるデータは以下の項目です。 ([]内は項目番号です。)

< 構成材料 >

表面処理識別[12]、構成材料名称[13]、材料規格[16]、材料コード(金属・その他)[17]、
材料記号(樹脂・ゴム)[18]、VDA材料分類コード[19]

< 含有目的 >

含有数整理番号[20]、JAMA含有目的コード[21]、含有目的名称[22]

< 化合物 >

化合物コード[24]、化合物名称[25]、化合物含有率[26]

< 部工会オプション >

化合物含有率(最小値)[42]、化合物含有率(最大値)[43]、化合物含有率(残部)[44]、
Node ID [材料][46]、Node ID [化合物][47]

- ・材料マスタのデータは、標準的なデータです。
ただし、実際の部品・材料が、ELV 4物質(鉛、カドミウムなど)を不純物として含有するなど、成分が材料マスタの内容と異なる場合、材料マスタをそのまま使用することができない場合があります。 その場合には実際のデータに修正する必要があります。

エラーチェック時に、入力データと材料マスタの照合チェックが実施されます。
データを修正している場合(入力データと材料マスタが不一致)、下記のメッセージが表示され「Node ID [材料]」(項目番号 :46)が削除されますので、データを確認して下さい。
(ただし、JAMA含有目的コード[21] / 含有目的名称[22]は、照合チェックの対象外です。)

[mes115:警告] 材料 - 化合物情報が外部リストの内容と一致していません。値を削除しました。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

- ・JISに規定されている金属材料について、材料マスタを整備していますが、全ての金属材料について整備が完了してはおりません。材料マスタがない場合、以下の項目のみ読み込まれます。(次ページに画面イメージを掲載しています。)
Ver.2.01と同様、残りの項目を入力する必要があります。

< 構成材料 >

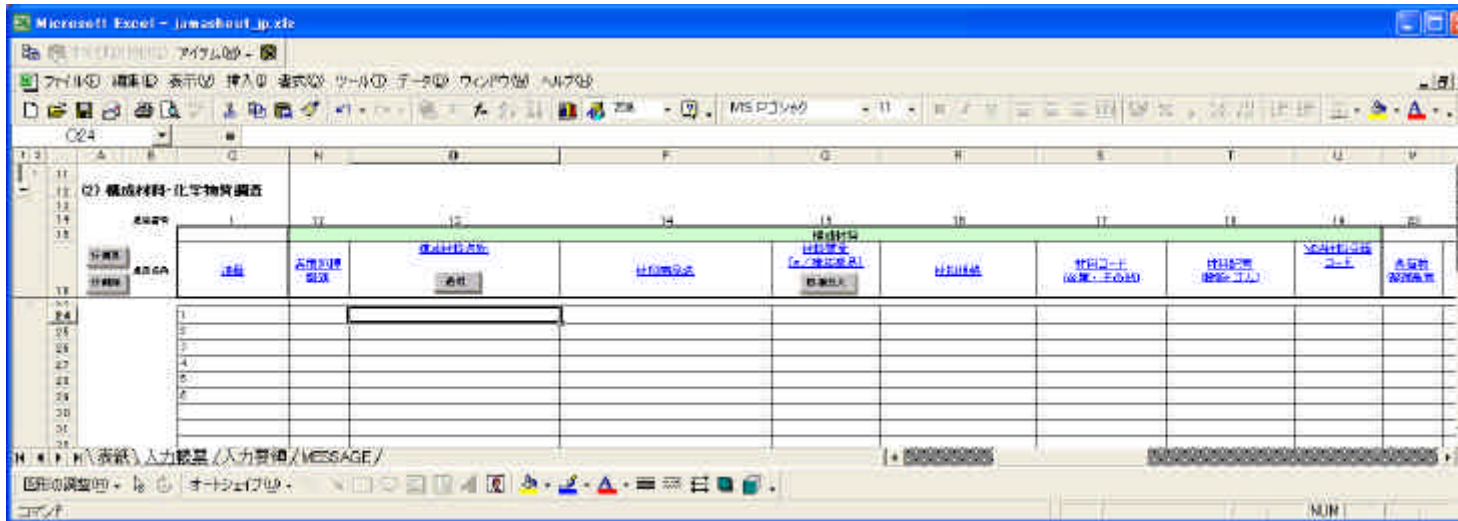
表面処理識別[12]、構成材料名称[13]、材料規格[16]、材料コード(金属・その他)[17]、
材料記号(樹脂・ゴム)[18]、VDA材料分類コード[19]

- ・材料マスタの読み込みは下記のとおり行われます。
材料の1行目 選択された材料が読み込まれます(従来どおり)
材料の2行目以降 化合物が読み込まれます ([行複写]が実行される、行数は化合物の数に応じる)
- ・材料マスタの「Node ID [材料]」(項目番号 :46)は、以下の体系です。
IMDSに未登録 :A + 数字 (事例 :A1234567) [桁数は材料により異なる]

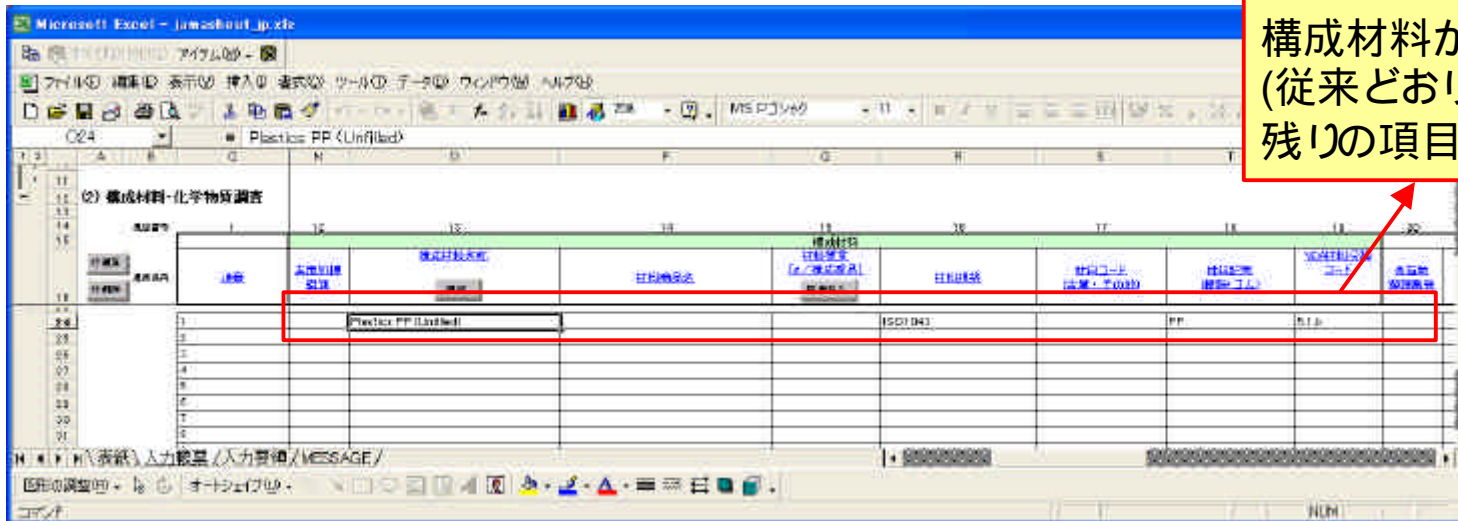
当初はIMDSに未登録の材料のみで運用を開始しますが、順次IMDSへの登録申請を進めます。

・材料選択の画面イメージ (材料マスタに「材料 - 化合物」のデータがない場合) 9/17

< 選択前 >



< 選択後 >

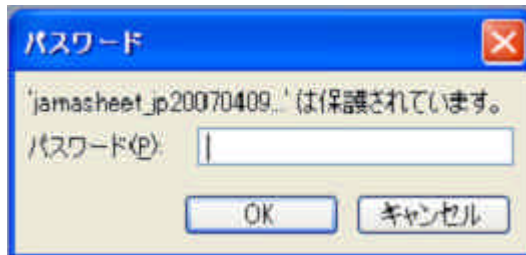


構成材料が読み込まれます。
(従来どおり)
残りの項目を入力して下さい。

2.セキュリティ機能の追加

- ・入力帳票を開く場合、添付のパスワード入力画面が表示されますので、入力して下さい。
パスワードを入力しないと JAMA/JAPIA統一データシートの入力ができません。
- ・パスワードは調査元に確認して下さい。
- ・パスワードはサプライチェーン内の会社限定して、展開して下さい。
取引関係がない会社に展開することはできません。

<パスワード入力画面>



JAMA統一データシート

Ver.2.02
2007年7月1日

JAMA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。

<2007年7月1日>
入力者の利便性向上を目的に、JISに規定されている金属材料を対象に、化合物のデータを材料マスタ材料 - 化合物)として整備、構成材料の[選択]を利用することにより、読み込まれるよう小改正版(Ver.2.02)を発効しました。
・材料マスタのデータは、標準的なデータです。実際の部品・材料のデータと異なる場合、修正する必要があります。
・JISに規定されている全ての金属材料について、材料マスタが整備されているわけではありません。

2007年7月1日以降、Ver.2.02を基本に調査を実施することになります。
なお、Ver.2.02とVer.2.01では入力項目は変更されていません。

<2006年10月1日>
 当初の改正版(Ver.2.00)に加え、直後にIMDSのバージョンアップがされたため、その対応版として小改正版(Ver.2.01)を発効しました。(外部リストの改正も実施しましたので確認ください。)
 本年10月1日以降Ver.2.01を基本に調査を実施することになります。必要であれば調査元、調査先で調整の上、対応ください。
 以下に、両改正版の実施通知(表紙)を付します。

JAMA統一データシートの改正(Ver.2.00)について

2006年4月1日
 (社)日本自動車工業会
 (社)日本自動車部品工業会

1.改正の背景

JAMA統一データシートは、既に関係自動車メーカー及び部品メーカーにて使用されている。現在、(社)日本自動車工業会(以下JAMAと記す。)会員の大半の自動車メーカーがIMDSを使用していること、及び特に(社)日本自動車部品工業会(以下JAPIAと記す。)会員の多くの部品メーカーにおいては、IMDS入力の基本データとして本データシートが使用されている状況を考慮すると、IMDSデータ様式とJAMAデータシート様式の間で整合が図れていることが入力負荷等の観点から望ましい。そこで、その整合化推進を主目的に、調査項目及びデータシート様式を見直すこととした。また、この改正にあわせサプライヤー間のデータ収集は、原則としてJAMA統一データシートもしくはIMDSを利用して収集する方法で統一化を図ることとした。

(注)IMDS:International Material Data System

2.改正の内容要旨(改正版は、Ver.2.00とする。)

(中略)

<変更点>
バージョン、日付を更新しました。

<変更点>
改正内容を追記しました。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

< 調査元情報 (調査結果提出先) >

会社名	
所属	
氏名	
Tel	
e-mail	

< 注意事項/Notice >

JAMA/JAPIA統一データシートは、環境規制への対応のため、製品中に含有する材料・化合物の調査に使用する目的で、(社)日本自動車工業会(JAMA) (社)日本自動車部品工業会(JAPIA)にて合意された帳票です。

全ての関連資料に対して、下記の行為は禁止されていますので、遵守して下さい。

- 会社間で製品環境負荷物質情報のやり取りを行う以外の目的で利用することはできません。
- 関連資料/プログラムは著作権およびその他の知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。
- 不正に流用することはできません。
- 売買基本契約等の会社間の契約を締結していない第三者に配布することはできません。

< 免責事項/Disclaimers >

JAMA/JAPIA統一データシート外部リスト等、全ての関連資料を含む)を利用し、何らかの障害や損害(金銭的およびそれ以外を含む)が発生したとしても、

JAMA/JAPIA統一データシートの意図した動作 および 不具合等、いかなる理由であっても、一切責任は負いません。

JAMA/JAPIA統一データシート外部リスト等、全ての関連資料を含む)はたとえ不具合等が発生した場合であっても、会社間での取り決めに影響を与えません。

会社間で取り決めた調査期限までに報告ができなくなった等、不測の事態が発生した場合には、

会社間にて調整して頂く必要があります。

JAMA/JAPIA統一データシートのエラーチェックは入力データの形式チェックを行っているだけです。入力内容については、

各社で責任を持って頂く必要があります。

また、データ入力中・データ送受信中等いかなる場合において、入力データに不都合が生じたとしても、一切責任は負いません。

JAMA/JAPIA統一データシート外部リスト等、全ての関連資料を含む)は事前の予告なしに更新することがあります。

< 変更点 >
注意事項、免責事項を
追記しました。

4.入力帳票

(1) 部品構成 (項目番号 :7 11)

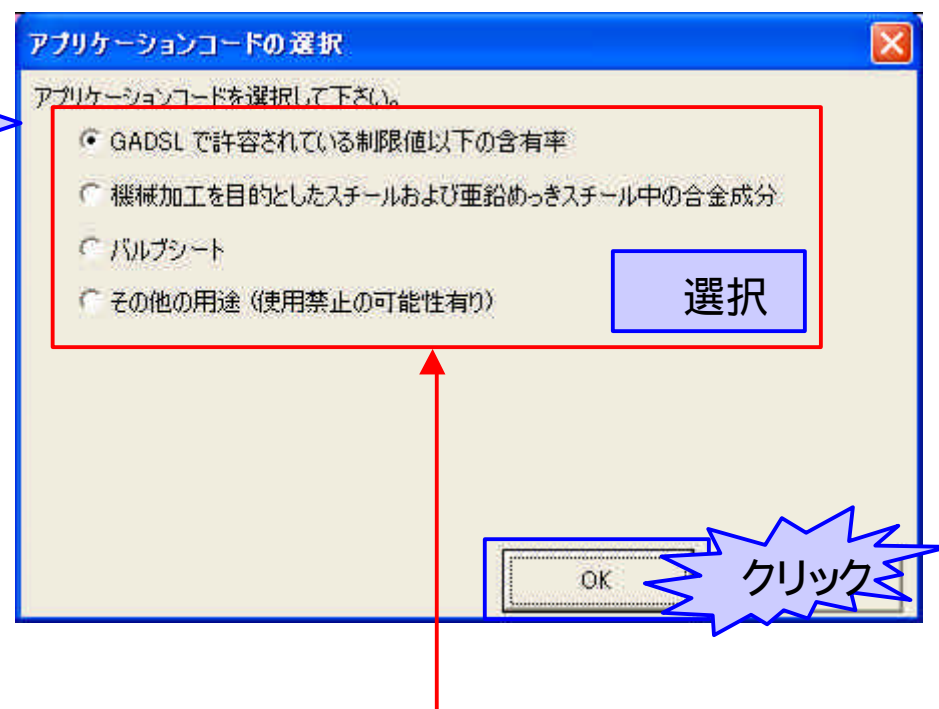
項目番号	7	8	9	10	11
	部品構成				
項目名称	構成番号	構成部品番号	構成部品名称	構成部品質量A [g/個] 自動調整	構成部品数量 [/直上構成部品]
定義	納入部品に構成部品がある場合、その構成レベル	納入部品を構成する部品の部品番号	構成部品番号で定められた部品の名称	構成部品1個あたりの質量 [g個]	直上の構成部品1個あたりに使用される構成部品の数量 [個数/直上構成部品]
記入者	調査先	調査元または調査先	調査元または調査先	調査先	調査先
必須	必須	必須 (調査元品番がある場合)	必須 (調査元品番がある場合)	必須 (同一品番が続く場合は、最上行のみ)	必須
	(納入部品に使われる材料を入力する行は、「1」)	ただし、納入部品に使われる材料を入力する行は記入不要	ただし、納入部品に使われる材料を入力する行は記入不要	ただし、納入部品に使われる材料を入力する行は記入不要	ただし、納入部品に使われる材料を入力する行は記入不要
データ型	半角数字	半角英数字	半角英数字	半角数字	半角数字
桁数(整数)	2	25	60	7	3
桁数(小数)	0	0	0	6	0

< 変更点 >

納入部品に使われている材料を入力する場合のルールを説明しました。
(構成部品を入力しない場合)

(2) アプリケーションの選択 (項目番号 :34)

項目番号	34
項目名称	アプリケーション 選択
定義	HMDSで定められている有害物質を使用している場合の使用目的コード
記入者	調査先
必須	必須 (規制物質の場合)
データ型	半角英数字
桁数(整数)	10
桁数(小数)	0



< 変更点 >

アプリケーションの選択項目が「日本語」にて表示できます。
(日本語の外部リスト利用時)

(注) 表示される選択項目は構成材料 化合物により異なります。(従来どおり)

(2) 材質表示(項目番号 :32)

Microsoft Excel - jamasheet_jp20070409(Ver. TEST).xls

ファイル 編集 表示 挿入 書式 ツール 設定 関数の挿入 ヘルプ

すべて表示 (1) 基本情報調査

項目名	文書	入力上の注意事項/解説	記入例 +標準元(OEM Test等) +調査依頼を行う方) +調査先(調査依頼内容 の7桁を記入)	子-別個呼方法 +調査元指定 +入力 +調査先入力 +数量入力	備考	データ型	数値 桁数	小数 桁数	記入例
カーゴコード	OEMコード、Itemコード、調査元を指定するコード	調査元(OEM)の2桁を入力する。2桁目以降は空欄(コード)	調査元は調査先(調査元がある場合)を入力する。調査先がない場合は空欄(調査先)	調査元指定	調査元名	半角英数字	10	0	100
出入先コード	調査先のコード	+出入先コードは調査元(7桁)の調査先を入力する。	調査元入力	調査元指定		半角英数字	0	0	000
出入先名	調査先の名称								
調査先名	調査先の名称								
調査先名	調査先の名称								
調査先名	調査先の名称								

<変更点>
「入力上の注意事項 / 解説」をIMDSに合わせて見直しました。

(2) 構成材料・化学物質

項目名	文書	入力上の注意事項/解説	調査依頼内容 +調査先(調査依頼内容 の7桁を記入)	調査先入力 +入力 +調査先入力 +数量 +質量	備考	データ型	数値 桁数	小数 桁数	備考 +調査先がある場合の入力 +調査先(調査依頼内容 の7桁を記入)
29 再生材使用空 工用材料(再生材) 最大値	+工場内リサイクル材(再生材)が使用されている材料について、その使用量の最大値	+NO4行白身部コード(01、05、06、07、08)の材料について、工場内リサイクル材(再生材)が使用されている材料について、その使用量の最大値を構成材料項目に記入する。	調査先入力	+入力		半角数字	3	4	
30 再生材使用空 市販材料(再生材) 最大値	+市販材料(再生材)が使用されている材料について、その使用量の最大値	+NO4行白身部コード(01、05、06、07、08)の材料について、市販材料(再生材)が使用されている材料について、その使用量の最大値を構成材料項目に記入する。	調査先入力	+入力		半角数字	3	4	
31 再生材使用命 市販材料(再生材) 最大値	+市販材料(再生材)が使用されている材料について、その使用量の最大値	+NO4行白身部コード(01、05、06、07、08)の材料について、市販材料(再生材)が使用されている材料について、その使用量の最大値を構成材料項目に記入する。	調査先入力	+入力		半角数字	3	4	
32 材質表示	+材質に材質コードを示していることをコード	+材質に材質コードを示していることをコード +材質に材質コードを示していることをコード +材質に材質コードを示していることをコード +材質に材質コードを示していることをコード	調査先入力	+入力	+材質データは、ISO14049 Practice: Green Identification and marking of plastic productsに定める5桁の材質コードを記入する。	TEXT(10桁) (0.1)	0	0	[P]を記入する。
33 リサイクルマーク	+製品にリサイクルマークが表示されていることをコード	+製品にリサイクルマークが表示されていることをコード +製品にリサイクルマークが表示されていることをコード +製品にリサイクルマークが表示されていることをコード	調査先入力	+入力	+製品にリサイクルマークの表示は、ISO14049 Practice: Green Identification and marking of plastic productsに定める5桁の材質コードを記入する。	TEXT(10桁) (0.1)	0	0	[P]を記入する。

Microsoft Excel - jamasheet_jp20070409(Ver. TEST).xls

ファイル 編集 表示 挿入 書式 ツール 設定 関数の挿入 ヘルプ

すべて表示 (1) 基本情報調査

(2) 構成材料・化学物質

29 再生材使用空
工用材料(再生材)
最大値

30 再生材使用空
市販材料(再生材)
最大値

31 再生材使用命
市販材料(再生材)
最大値

32 材質表示

33 リサイクルマーク

(補足説明) Ver.2.01 との互換性について

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ずVer.2.02の外部リストを利用して下さい。

旧バージョンの外部リスト(Ver.2.01 および Ver.2.00)は、エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。

旧バージョン(Ver.2.01 および Ver.2.00)にて作成したCSVファイルでも取り込みできます。

ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、エラーが発生する可能性があります。データを修正して下さい。